



ます。

—— 毎年のように厳しい天気襲われてるように感じます。

色々な事態に見舞われることで、自分の経験になつていると感じています。毎年栽培を通して、異常気象への知識や技術を身につけ、次また同じようなことがあっても対応できるようにしていきたいと考え

ています。

—— 今年の出荷を終え、今は来年の栽培に向けた時期でしょうか。

盆に出荷する菊の場合は、4月にポットに挿し芽をして、5月に定植します。それまでの冬期間は、挿し芽のもとになる親株の管理をハウス内で行っています。定植後もきれいに成長するように、この段階か

ら防除などの管理を徹底するように心掛けています。

—— 今後の展望を教えてください。

来年は栽培面積が100坪拡大する予定で、今後も拡大していきたいと思っています。自分は若年層で年上の方が多いので、先輩農家の方々の栽培技術を身につけていきたいと思っています。しっかりと需要期に合わせて品質が高いものを出すことは、もちろんこれからも意識していきます。また、農業に励む若い人がもっと増えてくると、うれしいですね。

そのためにも、若い世代の自分たちがいい農産物を作り、頑張る姿を見せていきたいと思っています。



1



2



3



4



5

1 2 ハウス内では春まで、親株の管理が行われる

3 4 ハウスが立ち並ぶ周囲に露地が広がる園芸メガ団地。佐藤さんはいちばん左のハウスなどを手掛ける

5 管内で年々生産量が伸びる小菊